

服部学長(以下学長) 島根県人口の社会減は、進学や就職を伴う20歳前後が多く、課題の一つです。そんな中、まずは入試で地域枠を設けるなど県内の高校生に進学してもらえようという取り組みを進めています。今春入学した学生の県内出身率は26・7%と過去5年間で最も多くなり、2020年度比で5ポイント増。また卒業後の県内就職率向上に向けても、「しまね産学官人材育成コンソーシアム」などを通じて県や産業界と共に取り組みを加速させています。

産学官が協働して 人材育成を加速

東京一極集中や、若者の地方からの流出を背景に、「地域の知の拠点」である大学と、地方自治体や地域の企業が協働して、地域が求める人材を育成する「地方×大学」の取り組みが全国的に進められています。「しまね産学官人材育成コンソーシアム」でも中心的役割を担う、島根県商工会議所連合会の田部長右衛門会頭と服部泰直学長に、持続可能な地域づくりに向けた思いを聞きました。

田部さん他、関係の皆様を協力を得て昨年度から、県内企業からの寄附金を財源とした「県内定着奨学金制度」もスタートしました。卒業後に県内での就職・定着を希望する学生に、在学中から経済的支援を行う制度です。

田部会頭(以下会頭) この制度は、我々経営者側と、学生を送り出す大学側のコミュニケーションの中から生まれました。実は我々企業にも大きなメリットがあります。制度を通し、大学や学生、その保護者の方々に企業について興味を持って頂けますし、直接インターンシップを受け入れることもできます。学生、大学、地域、企業—誰にとっても良いことづくしの事業だと思っています。

学長 企業が在学中の学生に寄附して下さることを、少し前までは発想もできませんでした(笑)。コロナ感染症が少し収まり、企業のトップの方と直接会って話ができるようになったことで、お願いもしやすくなりました。

会頭 直に会うことで、オンラインでは伝わらない熱量が届いてきました。寄附することによって、県内就職率が上がり、若者が定着してくれるのであれば、このお金は



山陰中央テレビジョン放送株式会社のオフィス内

と生きていきます。我々も恩恵を得ることができずし、メリットしかありませんよ。

若い人の目を県内に向けたためには、企業は賃上げや仕事内容だけでなく、職場環境の向上にもっと注力すべきだと考えています。例えば、いくら給料が高くて魅力的な仕事内容だとしても、オフィスが汚ければ毎日通いたいでしょ。私が社長を務めるTSK(山陰中央テレビジョン放送株式会社)は2年前、それなりのコストをかけて社内を改装。おしゃれで過ごしやすい、クリエイティブな環境になったと自負しています。良い人材を育てるために



島根県商工会議所連合会会頭
田部グループ代表
山陰中央テレビジョン放送株式会社 代表取締役社長

島根大学 学長

田部長右衛門 × 服部泰直

TANABE CHOUEMON HATTORI YASUNAO

特集1 学長スペシャル対談

産学連携による 持続可能な地域づくり

vol.55 CONTENTS

- 留学生・留学体験紹介 07
- 島根大学の研究・地域貢献事業紹介
 - ①教育学部 作野 広和 教授 09
 - ②材料エネルギー学部 八代 圭司 教授 11
- 社会で活躍する卒業生 13
- しまだい便り 15
- 島根大学支援基金より 17
- 読者プレゼント 17

企画・制作
株式会社メリット
デザイン
有限会社node
タイトルロゴデザイン
松陽印刷所デザイン室 森脇 祥吾

表紙/島根県商工会議所連合会会頭・田部長右衛門氏と山陰中央テレビジョン放送株式会社に。

人とともに 地域とともに 島根大学

*shimadai
広報しまだい
Shimane University
2023.7 vol.55

[特集1]
学長スペシャル対談
島根県商工会議所連合会会頭 01
田部長右衛門氏

[特集2]
衝撃緩和に優れた畳床を開発 05



「観光教育プログラム」で訪れた和銅博物館(島根県安来市)で天秤輪(ふいご)を体験する学生

や歴史がないことだと考えています。そういう意味で島根は、堂々たる「都会」だと自信を持って言うべきです。

ただ残念なことに、この土地に暮らす人々がその土地の歴史をあまり知りません。もともと歴史教育に注力すべきだと痛感します。

観光という側面からも、教育に注目しています。東京で学べないことを島根で学んでもらう「教育ツーリズム」は、ニーズが高いと考えています。

学長 伝統を継承しながら、新たな知の価値観を創造していくのが大学の役割。また、学生がキャンパ



は環境改善も不可欠です。

学長 本心に素敵な空間ですね。田部さんには、企業の社長に一日中密着する「かばん持ちインターンシップ」でも学生がお世話になっていて、経営者哲学を学べるいい機会を頂いています。

県内出身の入学者数が増えたとはいえ、約4分の3は、県外からの学生です。持続可能な地域を創っていくためには、県外からの学生に島根の良さを知ってもらい、いかに残ってもらおうかということも大切だと考えています。

島根にある本当の「贅沢」を自信を持って発信する

会頭 東京一極集中が叫ばれて久しいです。確かに、都会には素敵なカフェやレストラン、アミューズメントパークなど人を惹きつけるスポットが多く、そして非常に便利です。しかし、魅力的なスポットの多さや利便性の良さは、「心地よい暮らし」とイコールではないような気がします。物質的な充足感や利便性が生む幸福感と、本来人間が求めている幸福感は違う、と私は思います。

三ツ星のフレンチレストランで高

級な食事を頂くのも、贅沢でしょう。一方、私たちが提案する贅沢は、例えば山の中の清流が育んだ米を、その水で研いで炊いた「ご飯」です。機械で精製した水で炊いたご飯とは、まるで味が違います。

毎日数時間かけての通勤や通学、人混みの多さなど、都会での暮らしに疲れている人もいます。一方島根では、目をつぶると、鳥や虫の声、川のせせらぎが聞こえてきます。車のクラクションや工場の機械音など人工的な音が全くしない空間があるのです。本当の贅沢とは何か。今、多くの人が気付き始めているのではないのでしょうか。その表れの一つが近年のキャンブームのように感じます。

学長 大学でも以前からフィールドワークに力を入れています。パッチャルでは分からない実体験を得て、島根の魅力を学生たちに感じてほしいと思っています。

会頭 島根には豊かな文化もあります。文化果つるところは減びているーと歴史も証明しています。利己的に走ることでその時代が終わっていくことは往々にしてあります。文化や歴史は一から簡単に作れません。継承していくものです。私は、田舎の定義とは、文化

伝統を受け継ぎつつ、
新しい価値創造をする
不易流行の精神で
大学経営を。



服部 泰直
1956年長野県生まれ。
1993年4月島根大学理学部助教授、1995年6月島根大学理学部教授、同年10月島根大学総合理工学部教授、2011年10月島根大学総合理工学部長、2012年4月島根大学大学院総合理工学研究科長。2015年4月に島根大学長に就任。趣味はサッカーで、国体出場経験も。

スから出たり、学外から講師を招いたり、実社会とのつながりを持った学びで地域を知ることがより求められているのだと感じています。

特別副専攻プログラムで観光教育を行っています。まだまだ一部分。少しでも地域を知ってもらうために、例えば島根県内に七つある日本遺産をテーマごとに深く掘り下げていってはどうかと考えています。学生が学んだ文化や歴史、先人の知恵などを、自然の中で都会の子どもたちに教えていく。田部さんが仰るような「教育ツーリズム」は面白いと思います。

コンテンツの質を上げ 地方に人を呼び込む

会頭 日本の人口減少は避けられませんが、そんな中、地方に人を呼び込むには、食の質、医療の質、そして教育の質を上げていくしかありません。島根はその可能性を秘めていると思っています。

今春、島根大学には材料エネルギー学部という新学部ができ、新素材開発などに注力していけることと思います。そんな中、特

許取得などの需要も多く生まれていくでしょう。経済界と大学が一緒になってスタートアップ(起業)を進めていければと思います。起業することで時代を創ることができるといふことを若い人たちに知ってほしいし、私たち産業界はそれを後押ししたいのです。

学長 大学教員の意識は、どうしても自身の研究に向きがちです。それは研究者として当然なのですが、社会の要請に耳を傾けることも大事です。産業界の支援を得ながら、教員自身も研究成果・技術をどのようにしたら社会に活かすことができるかを考えていけば、大学は大きく変わると思います。

会頭 島根には、さまざまな側面で「材料」が揃っています。今後大切なのは、この材料を「目利き」し、「料理」すること。例えば、大学の研究にも「金の鉾脈」が数多くあります。目利きできる経営者と、料理できる研究者がタッグを組めば、新たな価値が多く生まれるはず。学長 大学にとってもありがたい話です。是非一緒に進めていきましょう。

大学と産業界がタッグを組み、
島根に揃う魅力的な材料で、
本当の贅沢を提案する。



田部 長右衛門
1979年島根県生まれ。
2002年中央大学法学部卒業、株式会社フジテレビジョン入社。2010年に島根県へ帰郷し、株式会社田部をはじめとした家業を継承。2015年、第25代田部長右衛門を襲名。2016年に山陰中央テレビジョン放送株式会社の代表取締役社長に就任。2019年11月、島根県商工会議所連合会会頭に就任。